

推進テーマ

子どもがより安心して過ごせる幼保小の円滑な接続に向けて
～経験や対話を通していろいろな気づきを大切に学び合う子～

港南台第二地区
港南台幼稚園
赤い屋根保育園
港南台第二小学校

推進テーマ設定の理由

近隣の幼稚園・保育園・小学校で協働することで相互の学びの円滑な接続や充実を、日常の活動の延長上で図ることが可能となり、子どもの安心だけでなく保護者や職員の連携を深める機会となる。

推進内容

- 幼児・児童の育ちや学びの連続性に関すること
- 教職員の連携に関すること
- 交流活動に関すること

今年度の重点課題 ～今年度力を入れたこと～

- 園や学校の日常の活動の中で、出会いの仕方が子どもたちにとって自然になるようにした。
- 交流を重ねる中で、相互の関心が高まるようにした。

児童・園児・研修会の様子

① 出会い（偶然に出会ったかのように きっかけをつくりました）



3つの施設子ども達が公園へ！
大縄や鬼ごっこなど、自然な形で
一緒に楽しみました。



おにいさんと
ともだちにな
れた！

〇〇保育園のお
友だちなんだね。
何組さんなの？

生活科の勉強で学校の
近くの公園に行ったよ。
そうしたら、幼稚園や保
育園の子たちがいて、
一緒に遊んだよ！



また遊ぼうね！



〇〇ちゃんに
あえてうれし
かった。

児童・園児・研修会の様子

②運動会



運動会のダンスを幼稚園、保育園の子達に見せたよ！！緊張したけど、上手に踊れてよかったよ。
保育園、幼稚園の先生達も見てくれて嬉しかったよ。
本番も上手くいくといいな。

玉入れ楽しそう♪

学校ってひろいね～



その後、幼稚園の子ども達は玉入れがやりたくなり、帰園後、幼稚園のホールで急遽ダンシング玉入れを楽しみました♪

いっしょにおどってみたい♪

どんなふうになんしゅうしているのかな

運動会練習を見に行く前に子ども達と、小学校の運動会ってどんなことしているのか、予想を立ててみました。



児童・園児・研修会の様子

③水遊び

幼稚園と小学校合同でグループを作り、一緒に各コーナーをまわってあそびました。



小学生が作ってくれた水あそびのおもちゃを使って一緒にあそびました。



★保育園の年長児が作った、的当てとメニュー表★



グループごとに自己紹介をして名前を知ったり、作ってきてくれた水遊びのおもちゃの使い方や遊び方を教えてもらったりすることで、園児の1年生への親しみの気持ちがさらに増しました。また、自分たちも、同じようなものを作りたいと思い、作ったもので年中児や年少児と一緒に遊び、縦割り活動にもつながりました。

生活科「なつとともにだち」で幼稚園、保育園に行ったよ！水遊びを園児のみんなとやったよ。一緒に〇〇すくいをやったときにいっぱいすくっていてすごいと思ったよ。どうやって水を出せばよいのか教えてよ。

児童・園児・研修会の様子

④秋を楽しむ（きっかけ）



われてない
きれいなどん
ぐりをみつけ
よう！

生活科「あきとなかよし」で西公園に行ったよ！！
夏より少し涼しくなったよ。
公園で見つけた木の実を使い切ってしまったときに
幼稚園、保育園の子達がどんぐりをくれたよ。これを使
って、秋のお店やさんを開くから、遊びに来てね。

1年生がお店屋さんで使うどんぐりを拾いに、公園に行きました。割れていないか確認をしたり、帽子つきのかawaiiどんぐりを集めたりと、使えるどんぐりは、どれか良いか考えながら拾っていました。
それを知った園児たちは、後日、どんぐりを1年生へ届けに行きました。そして、初めて校内の中に入って探検をしました。



どんぐりのプ
レゼントを持っ
て行ったら、学
校の地図をも
らい。学校探検
に行かせても
らったよ。



良い匂いがする！ここで給食を作る
のか～！食べてみたいなあ♪

児童・園児・研修会の様子

⑤秋を楽しむ（園が学校へ）

初めは元気な小学生のお兄さんお姉さんに圧倒されていた幼稚園の子ども達でしたが、少しずつ慣れてくると、様々な遊びに挑戦させてもらいました。

どんぐりでこんなおもちゃが作れるんだ！という発見・・・

自分達では作った事のないおもちゃもあり、後日作ってみようとする姿も見られました。

- ・最初は、緊張していた(保育園の)子ども達ですが、卒園児を見つけると安心したり、1・2年生が優しく声をかけてくれたり、分かりやすく説明してくれたりすることで緊張がほどけていました。
- ・「回る」「転がる」といった、木の実の特徴を捉えて作られた遊びは、年長児にとっても「こんなあそびかたがあるんだ！」と学びになりました。
- ・交流を重ねるごとに、学校、小学生、先生が少しずつ身近な存在になってきていることも感じられました。

次は、冬のお店屋さんをしてみんなを招待したいな。

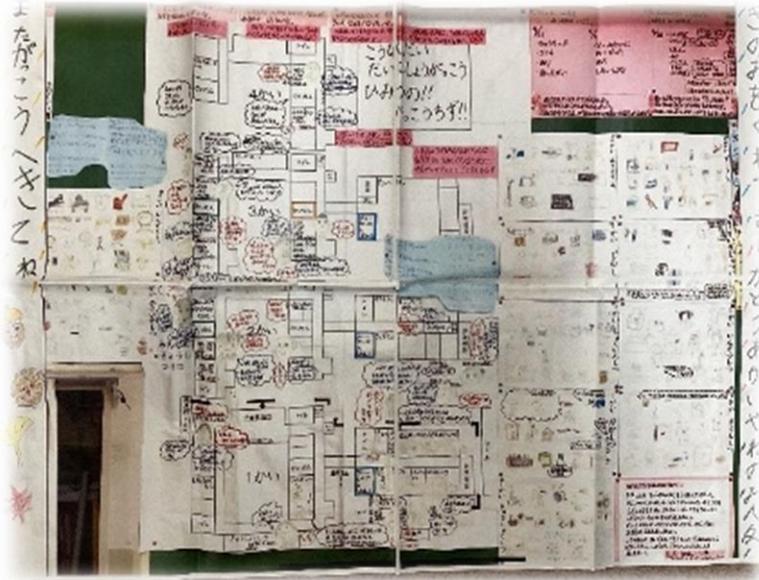
はじめてのきょうしつの中、どきどきするな～。

あ！〇〇ちゃんがいた！

おねえさんがこえをかけてくれた。あそんでみたいな。



児童・園児・研修会の様子



おやつはで
る？

ほいくえん
みたいに、
おとうばん
はあるの？

学校探検では、下駄箱を使ったり、授業の様子が見ることができたり、音楽室、図工室など初めて聞く教室に興味深々で、小学校と保育園との違いにも気づきました。保育園に戻り、1年生から頂いた学校の地図を見ながら、子ども達と振り返りをしていると、実際に見てみる事で学校のイメージが少しでき、また、もっと知りたい事や疑問に思うことが子ども達から出てきました。自分たちがいよいよ1年生になるという期待も膨らんできたようです。

⑥ 保育園と幼稚園との交流

幼稚園の子ども達が、保育園の運動会の練習を見に行きました。応援団を見て「かっこいいね！」と言ったり、「ダンスは私たちもやるけど、違うダンスだね。」などと言い、「戻ったら踊りたいな♪」と踊りたい意欲に繋がった様に思います。



児童・園児・研修会の様子

①施設間の研修

<幼稚園公開保育>

幼稚園の公開保育へ小学校の職員が参加しました。年長児でもグループごとにお店屋さんをやり、ちょっとした役割分担などを自分達で行っている様子を共有しました。



<研修会>

近隣の保育園・幼稚園・小学校も参加して研修会を開催しました。「運動面からみた幼保小の繋がり大切さ」というテーマで体を動かしながら研修を行いました。職場の垣根をなくしたコミュニケーションが生まれ、参加者は、子どもへの関わり方の引き出しが増えました。



成果と課題

<成果>

- ・さり気ない出会いのきっかけをつかったこと、次の交流の見通しがもてたことがよかった。
- ・年間を通して計画的に関わることができ、子どもたちにとって小学校への期待が膨らんだ。
- ・幼稚園、保育園、小学校での活動や材、アプローチの仕方など、互いの支援の具体がわかった。
- ・職員同士の交流が増え、互いのカリキュラムへの関心が高まった。

<課題>

- ・さり気ない交流は大切にしていくと共に、交流の内容の引き出しを増やしていきたい。
- ・研修会など、職員同士の交流の機会を広げること。
- ・小学校のスタートカリキュラム等に、互いの支援の具体を反映させていくこと。
- ・園、学校のカリキュラム（流れ）がある中で、関りをもつのに難しさを感じるがあった。